**有斐斎弘道館**

[茶とアート]

弘道館は儒者の皆川淇園（1734～1807年）が設立した学問所でした。淇園は、まさにこの場所で日本全国から集まった3,000人あまりの門弟に自身の哲学を教えました。淇園はまた、詩、書道、水墨画にも精通しており、多くの有力武士から重用されました。

歴史的な弘道館の跡地に2009年に設立された有斐斎弘道館は、本格的な昔ながらの茶の湯環境を提供する文化センターです。来館者は、抹茶と季節の京菓子（伝統的な京都のお菓子）が提供されるカジュアルな茶の湯体験に参加したり、懐石料理が追加可能な個別のフォーマルな茶の湯を予約したりすることができます。

庭園に囲まれたこの19世紀の建物は、江戸時代（1603〜1867年）に武士の支配階級が好んだ、簡素でありながら洗練された数寄屋造りの建築様式となっています。その畳敷きの部屋は、京都で最も評価の高い、年に一度の京菓子展など、展示会や他のイベントに使用されることがあります。